



2011 年度活動報告書

【研究事業部】

■2011 年度 HCD 研究発表会

開催日時:2010 年 12 月 8 日(木)10:30~18:00

開催場所:文京区スカイホール

参加人数:84 名

〔資格認定セッション〕

・「認定人間中心設計専門家 2011 年度資格認定に関する説明会」

〔研究発表セッション〕

・「デザインパターンを活用したユーザーエクスペリエンスデザインのアプローチ」

山崎 和彦氏(千葉工業大学)

・「意義展開パターンに基づく Web ナビゲーションのためのリンクアイコン生成手法に関する検討」

梅景 晃平氏(関西大学)

・「WARAIPRODUCTS 世界へ向けた笑いを誘発するプロダクトの研究」

亀井 隆昭氏(千葉工業大学)

・「高齢ユーザーを対象としたモバイル機器の使いやすさ改善に適したユーザー調査手法の提案」

上田 香織氏(千葉工業大学)

・「観光サービスデザインにおけるエスノグラフィーと ペルソナ手法の有効性の検証」

日高 洋祐氏(慶應義塾大学)

・「超簡易ユーザビリティチェック手法「UxDux Light」の開発」

清水 浩行氏(三菱総合研究所)

〔ポスターセッション〕

・「協働によるデザイン案検討におけるペーパーホワイトボードプロトタイピングに関する検討」

白澤 洋一氏(hcdvalue)

・「文章理解に及ぼすメディアの影響ーブックリーダーと書籍」柏崎 祐希氏(常磐大学)

・「教材内容の検索に及ぼすメディアの影響:ブックリーダーを書籍」荻沼 和図氏(常磐大学)

・「UX 白書の翻訳と概要」佐々木 将之氏(hcdvalue)

・「女性向け防災用品の企画・提案」飯塚 重善氏(神奈川大学)

・「次世代の航空管制卓の提案」平子 元氏(千葉工業大学)

・「電車通学時間を利用して読書習慣を身につけるデザインの提案」

増澤 崇氏(産業技術大学大学院)

■機構誌の発行

2012 年 3 月 24 日に機構誌 2011 年度 第 7 巻 第 1 号を発行しました。

掲載論文:

・「シャープにおけるユーザー中心設計のための人材育成」佃 五月氏

・「IT 技術者への HCD 教育の課題と展望」葛西 英昭氏

・「人間中心設計教育のための多層的コミュニティと社会的相互作用」上平 崇仁氏

・「人間中心設計の教育-東京農工大学 UU 専修における実践」

黒須 正明氏、中川 正樹氏、藤田 考弥氏



●Human Centered Design Organization

【教育事業部】

■教育セミナー「人間中心設計とユーザエクスペリエンス」

開催日時:2011 年 5 月 19 日(木)15:00~18:00

開催場所:こどもの城 9F 906 号室

参加人数:59 名

【講師】

- ・「HCD と UX ～HCD プロセスの国際規格(ISO9241-210)の動向」
福住 伸一氏(NEC)
- ・「HCD と UX ～UX 白書にもとづく総論」 黒須 正明氏(放送大学)

■教育セミナー「ユーザビリティからエクスペリエンスとユーザビリティ評価」

開催日時:2011 年 8 月 23 日(火)14:30~18:00

開催場所:大阪工大大阪センター

参加人数:16 名

【講師】

- ・「ユーザビリティからエクスペリエンスへ」 吉岡 英俊氏(ソフトデバイス)
- ・「ユーザビリティ評価方法」 小林 正氏(愛知工大)

■教育セミナー「HCD の導入事例とロギングツール」

開催日時:2011 年 9 月 30 日(金)17:00~20:00

開催場所:愛知工業大学 本山キャンパス

参加人数:22 名

【講師】

- ・「HCD の意義と HCD-Net の活動」 小林 正氏 (愛知工業大学)
- ・「HCD の導入事例:事務機器におけるユーザビリティテストの成果と課題」
内山 洋一氏 (ブラザー工業)
- ・「行動観察記録ツール OBSERVANT EYE のユーザビリティ評価への応用」
易 強氏(静岡工業技術研究所)

■教育セミナー「ユーザビリティ(人間中心設計)のコストを考える」

開催日時:2011 年 11 月 28 日(月)13:30~16:45

開催場所:文京シビックホール

参加人数:40 名

【講演者】

- ・「インハウス系のデザインの観点から」 上田 義弘氏(富士通)
- ・「コンサルティング系のデザインの観点から」 鱗原 晴彦氏(U'eyes Design)
- ・「DIY 系のデザインの観点から」 樽本 徹也氏(利用品質ラボ)



●Human Centered Design Organization

■教育セミナー「HCD 上流工程の手法と発想手法ワークショップ」

開催日時:2011 年 12 月 13 日(火)14:00~17:50

開催場所:文京シビックセンター

参加人数:41 名

〔講演者〕

- ・「HCD におけるコンセプトと発想手法について」 山崎 和彦氏(千葉工業大学)
- ・「HCD における視覚化手法について」 浅野 智氏(横浜デジタルアーツ専門学校)
- ・「発想手法ワークショップ-1「体験からの発想」」 山崎 和彦氏(千葉工業大学)
- ・「発想手法ワークショップ-2「XB 法」」 三澤 直加氏

■教育セミナー「GUI 設計における要求事項抽出、デザインパターン・メンタルモデルに基づくデザイン方法」

開催日時:2012 年 1 月 30 日(月)13:30~16:45

開催場所:常翔学園大阪センター

参加人数:16 名

〔講演者〕

- ・「要求事項を抽出する様々な手法の紹介」 前川 正美氏(操作デザイン設計)
- ・「GUI のデザインパターンを使って効率よくデザインする方法」
平田 一郎氏 (兵庫県立工業技術センター)
- ・「GUI デザインの骨組み(概要)」 山岡 俊樹氏(和歌山大学)

■教育セミナー「ユーザーエクスペリエンスデザインのためのストーリーテリング」

開催日時:2012 年 2 月 25 日(土)13:00~17:00

開催場所:株式会社ミクシィ

参加人数:54 名

〔プログラム〕

- ・講演①「ストーリーテリングについて」 脇阪 善則氏(楽天)
- ・講演②「ストーリーを集める」 酒井 洋平氏(ネイバージャパン)
- ・ワークショップ①「ストーリーを聞く・集める」
- ・講演③「ストーリーをクラフトする」 前田 俊幸氏(ジンガジャパン)
- ・ワークショップ②「ストーリーをクラフトする・伝える」

■教育セミナー「HCD 上流工程の手法と発想手法ワークショップ」

開催日時:2012 年 3 月 26 日(月)14:00~17:30

開催場所:静岡市クリエイター支援センター

参加人数:23 名

〔講演者〕

- ・「HCD におけるコンセプトと発想手法について」 山崎 和彦氏(千葉工業大学)
- ・「HCD における視覚化手法について」 浅野 智氏(横浜デジタルアーツ専門学校)
- ・「発想手法ワークショップ-1「体験からの発想」」 山崎 和彦氏(千葉工業大学)
- ・「発想手法ワークショップ-2「XB 法」」 三澤 直加氏



●Human Centered Design Organization

【広報社会化事業部】

■講演会「石井 裕(MIT メディアラボ 副所長・教授)が未来を語る」

※千葉工業大学工学部デザイン科学科 山崎研究室と共催

開催日時: 2011 年 5 月 20 日(金)18:30~20:00

会場: 千葉工業大学

参加人数:98 名

【概要】

MIT メディアラボ 副所長・教授の石井裕氏が、これまでの経験、研究や作品を紹介しながら、これからの時代に向けて、未来を語りました。

■第 1 回 HCD-Net サロン「サービスと HCD」

開催日時:2011 年 5 月 27 日(金)18:30~20:50

開催場所:クリエイティブスペース amu

参加人数:33 名

【講師】

- ・「サービスと HCD」 遠山 正道氏(株式会社スマイルズ)

■第 2 回 HCD-Net サロン「アドバンストデザインと HCD」

開催日時:2011 年 6 月 30 日 18:30~20:50

開催場所:東京ウィメンズプラザ

参加人数:37 名

【講師】

- ・「Design as we talk 話すデザイン」三木 健氏(三木健デザイン事務所)
- ・渡邊 恵太氏(五十嵐デザインインタフェースプロジェクト)

■HCD-Net パーティーin オーランド

開催日時:2011 年 7 月 14 日(木)18:00~21:00

参加人数:20 名

【概要】

日本の HCD 関連者および HCD-Net の国際アドバイザーボードのメンバーが集まり、最新の HCD 関連の情報交換と親睦を深める HCD-Net パーティを開催しました。

■HCD-Net ツアーin ニューヨーク

開催日時:2011 年 7 月 11 日(月)

参加人数:18 名

【概要】

下記の HCD に関連するニューヨークの代表的なデザイン事務所や大学を訪問しました。

- ・インターブランド社(Interbrand)

(ゼロックス、BMW、サムソン、キヤノン、マクドナルドなど多くの企業をサポートしている世界的なブランドコンサルティング会社です。ブランドとデザインについて話を聞きツアーをしました。)

- ・オーディオブレイン社(Audiobrain)



●Human Centered Design Organization

(Xbox 360、マクドナルド、IBM、ヤマハなどの企業や商品の音のブランディングを担当している音のブランドや音のエクスペリエンスの世界的な会社です。)

・スマートデザイン社 (Smart Design)

(OXO のキッチン用品、ロジテック、ナイキのプロダクトデザインから、インタラクティブデザインやパッケージデザインを手がけるユニバーサルデザインでも有名なプロダクトデザイン事務所です。)

・プラットインスティテュート (Pratt Institute)

(ニューヨークの代表的なアートデザイン系大学です。)

■第 3 回 HCD-Net サロン「ペーパープロトタイピングワークショップ」

開催日時: 2011 年 7 月 29 日 (金) 18:00~21:00

開催場所: 東京ウィメンズプラザ

参加人数: 41 名

【講師】

・梶 幾也氏 (U'eyes Design)

■第 4 回 HCD-Net サロン「くらしと健康 in 神戸」

開催日: 2011 年 9 月 9 日 (金) 15:30~19:00

開催場所: シスメックス株式会社 テクノパーク

参加人数: 43 名

【概要】

関西有数の企業の方々に事例紹介を含めた話題提供をしていただき、参加者でディスカッションを行いました。

【プログラム】

- ・講演①「くらしと健康」 小池 禎氏 (オムロンヘルスケア)
- ・講演②「地球環境を考慮した HCD」 大瀬 潤三氏 (元島津製作所)
- ・講演③「パワーポイントプロトタイプの実践例」 高橋 美晴氏 (TOA)
- ・講演④「医療機器開発における HCD 実践事例」 水本 徹氏 (シスメックス・技術情報部)
- ・講演⑤「行動観察と HCD」 松波 晴人氏 (大阪ガス)
- ・パネル発表①「京セラにおける人間中心設計の活用事例」 渡辺 英範氏 (京セラ)
- ・パネル発表②「Photo BENTO ネットを介した日常発見共有」アレックス・コバチ氏、ポール・ワランソン氏、岡澤 佳恵氏 (京都工芸繊維大学)
- ・パネル発表③「監視カメラシステムを使ったユーザビリティ評価」 佐藤 彩子氏 (TOA)
- ・パネル発表④「User-Business Map を用いた医療機器への人間中心設計の適用」三島 義博氏 (シスメックス)
- ・パネル発表⑤「ユーザーエクスペリエンスを考慮した人間中心設計へ向けて」山崎 和彦氏 (千葉工業大学)
- ・パネル発表⑥「プロセス状況テーブルの紹介」 前川 正実氏 (操作デザイン設計)
- ・パネル発表⑦「音のデザインの取り組みについて」前田 耕造氏 (ジーベック)、松尾 謙二郎氏 (インビジブルデザインラボ)



●Human Centered Design Organization

■第5回 HCD-Net サロン「ユーザーエクスペリエンスのアプローチ」

開催日時:2011 年 10 月 5 日(水) 18:30~21:00

開催場所:株式会社 KDDI ウェブコミュニケーションズ

参加人数:50 名

〔講師〕

- ・「これからのユーザーエクスペリエンスのアプローチ」 黒須 正明氏(放送大学)
- ・「サービスデザインにおけるエクスペリエンスへのアプローチ」
近藤 朗氏(日立インターメディックス)
- ・「NEC におけるブランドと UCD へのアプローチ」 藤井 浩美氏(NEC)
- ・「ブランドエクスペリエンスのアプローチ」 山崎 和彦氏(千葉工業大学)

■第6回 HCD-Net サロン「サービスデザインと HCD」

開催日時:2011 年 10 月 27 日(木) 18:30~20:30

開催場所:クリエイティブスペース amu

参加人数:42 名

〔講師〕

- ・「Livlis のサービスデザイン」 川崎 裕一氏(カマド)
- ・「サービスデザインカンファレンス報告」 長谷川 敦士氏(コンセント)

■人間中心設計フォーラム 2011-組込型ソフトウェアのためのユーザビリティと事例-

開催日時:2011 年 11 月 16 日(水)10:00~12:00

開催場所:パシフィコ横浜

参加人数:200 名

〔講演者〕

- ・「JVCケンウッドにおける HCD 事例:ユーザーの利用状況記述方法」
和井田 理科氏(JVC ケンウッド)
- ・「アドバンスデザインにおける HCD」 八田 晃氏(ソフトデバイス)
- ・「携帯電話開発における HCD の取り組み」 竹川 博之氏(メディアキュート)
- ・「リコーにおける HCD の実践- テレカンファレンスシステム開発の事例」
島村 隆一氏(リコー)
- ・「これからの人間中心設計のアプローチとは」 山崎 和彦氏 (千葉工業大学)

■HCD-Net 賛助会員様向けイベント「HCD とビジネス」

開催日時:2011 年 12 月 15 日(木)13:30~21:00

開催場所:文京シビックセンター スカイホール

参加人数:23 名

〔講演者〕

- ・「BtoB 製品におけるペルソナ手法の実践例」 水本 徹 氏(シスメックス株式会社)
- ・「Yahoo!検索におけるサービス UI の実践」岸佐藤 翔子氏(ヤフー株式会社)
- ・「自治体サイトにおける情報の棚卸」 坂本 貴史 氏(ネットイヤーグループ株式会社)



■第 25 回 HCD-Net サロン「インタラクションと HCD」(タイトルを連番に変更しました)

開催日時:2011 年 1 月 20 日(金)17:00~20:00

開催場所:京都工芸繊維大学

参加人数:70 名

【講演者】

- ・「インタラクションと UX」 山崎 和彦氏(千葉工業大学)
- ・「コンセントにおける UX の事例」 長谷川 敦士氏(コンセント)
- ・「NEC における UCD と UX の事例」 河野 泉氏(NEC)
- ・「インタラクションと UX」 八田 晃氏(ソフトデバイス)

【パネル発表】

- ・「ヒューマンインターフェース・パフォーマンス・リサーチマップ 2011」
田輪 恭久氏(オーバルプラン)
- ・「サンプルペルソナを用いた簡易ペルソナ手法の提案」 吉井 誠氏(アイ・エス・ティ)
- ・「製品開発におけるペルソナ手法の導入と活用」 水本 徹氏 (シスメックス)
- ・「バリューシナリオ創出のモデル化に関する研究」 深井 将史氏 (京セラ)
- ・「GUI 画面におけるレイアウトパターンの考察」 横山 一真氏(和歌山大学)
- ・「選択的注意の観点を検討したインタフェースデザイン」 安井 鯨太氏(和歌山大学)
- ・「メンタルモデルにおける Functional Model と Structural Model による製品分類に関する一考察」
小林 加奈氏(和歌山大学)
- ・「タッチパネル端末における複数オブジェクト移動のための片手多点選択法」
平井 達人氏(関西大)、堀 雅洋氏(関西大)
- ・「高齢ユーザーを対象としたモバイル機器の使いやすさ改善に適したユーザー調査手法の提案」
上田 香織氏(千葉工大)
- ・「新製品開発における UCD の取り組み」 繁延 大氏(京セラミタ)
- ・「ヒューマンインタフェース授業事例報告」 大草 真弓氏(成安造形大)
- ・「Automotive Peripheral Information User Interface」
Warrunthorn Kittiwongsunthorn 氏(京都工芸繊維大)
- ・「Designer in Open Source Software Development」 Aleksandar Kovac 氏(京都工芸繊維大)

■第 26 回 HCD-Net サロン「空間とユーザエクスペリエンス」

開催日時:2012 年 3 月 2 日(金)18:30~20:30

開催場所:文京シビックセンター 26 階 スカイホール

参加人数:27 名

【講演者】

- ・「空間とユーザエクスペリエンス」 平田 晃久氏
- ・「クロストーク~空間のエクスペリエンスに係わるキーワード」
平田 晃久氏、高橋 正明氏、松原 幸行氏

■人間中心設計推進機構(HCD-Net)ニュースレターの発行

- ・毎月末にイベント情報等を掲載したニュースレターを会員専用のメーリングリストに発信しています。



【規格化/認定事業部】

■認定 HCD 専門家の集い

開催日時:2011 年 11 月 4 日(金)16:00~20:30

開催場所:文京シビックセンター 26 階 スカイホール

参加人数:44 名

〔プログラム〕

- ・「HCD の最新動向」黒須 正明氏
- ・「認定専門家の期待と役割」和井田 理科氏
- ・「専門資格更新のポイント制度」鞆 幾也氏

■2011 年度人間中心設計専門家」資格認定

〔審査結果〕

人間中心設計推進機構(HCD-Net)が、世界に先駆け昨年より実施している「人間中心設計専門家」資格認定の 2011 年度審査が完了しました。今年度は、43 名の方々が人間中心設計専門家として認定されました。内訳は HCD-Net 正会員 6 名、一般 37 名です。

〔審査経緯〕

今年度は、以下の日程で資格審査を行いました。

詳細告知	2011 年 12 月 1 日
募集要項公開	2011 年 12 月 20 日
申込開始	2011 年 12 月 20 日
申込締切	2012 年 1 月 10 日
書類提出締切	2012 年 1 月 31 日
合格発表	2012 年 3 月 31 日

今年度も、審査員講習会と受験者向け説明会をそれぞれ1回開催しました。

審査員講習会は、審査のばらつきをより少なくするためと、審査要領を各審査員により正確に理解していただくことで、審査精度と効率の向上を狙いにしました。また、受験者向け講習会では、制度の趣旨や認定専門家の役割などを理解していただきました。いずれの会も数多くの方の参加がありました。

〔審査過程における課題〕

昨年の課題を踏まえ、今年度も1人の受験者に対して、複数の審査員が厳正な審査を実施しました。最終的には、資格認定審査委員会において、各審査委員の審査基準の判断の揺れに個別に対応いたしました。

今年度の審査過程で主に話題になったのは、実践経験の判断とコンピタンスの実証の再現性です。実践経験に関しては、記述からは実務経験が十分でない判断されるケースが多く見受けられました。この制度では、受験資格を原則 5 年以上の実務経験をされている方としていますが、この基準をより厳密にしてゆく必要があると思われます。一方で、審査の参考資料である「プロジェクト記述書」を見ると、十分な実践経験があると思われるのに、審査対象である「コンピタンス記述書」の記述が不十分で、コンピタンスが読み取れない方もいました。また、記述されている対象プロジェクト数が少ないケースがあり、コンピタンス実証の再現性が保証できないと判断されることがありました。



〔2012 年度以降に向けて〕

本資格は、HCD-Net が人間中心設計実践において定めた一定の基準を充たしたことを認めるものであり、資格を認定された方は、今まで以上に人間中心設計の実践に励まれるとともに、啓蒙普及にご尽力いただくようお願いいたします。

また、今回基準に満たなかった方々も、なお一層の実践を通したスキルの獲得、知識の習得により専門家に認定される方々ばかりと認識しておりますので、次回以降の再申請を心よりお待ちしております。

昨年資格を取得された認定専門家の方々は、今年で2年目になります。この制度は、3年ごとに更新する仕組みになっています。人間中心設計分野での実践、知識の習得などを通じて、更新時に必要なポイントを獲得し、継続して資格を維持できるようお願い申し上げます。

この制度は1級相当の資格として「認定人間中心設計専門家」と2級相当、3級相当の資格で構成されています。人間中心設計に関わる専門家の数が限られている現状では、1級相当の資格だけでは認定者の暫減傾向は避けられません。できるだけ早く、2級・3級相当の資格認定制度を立ち上げる必要があります。現在、2級相当の資格は、ユーザビリティエンジニアリングのコンピタンスに特化した資格として「ユーザビリティスペシャリスト」(仮称)、3級相当の資格は、人間中心設計の基礎知識を問題形式として問う「ユーザビリティ検定」(仮称)として想定しています。1日も早く体系的な認定制度としての確立を目指してゆきたいと思いますので、皆さまのご理解、ご協力を今後ともよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、審査にあたり昨年度の認定者の方々をはじめ、関係される方にご協力をいただきました。改めて御礼申し上げます。



●Human Centered Design Organization

【国際事業部】

■HCD-Net フォーラム 2011

「強い HCD を目指して～世界の中の HCD、日本から世界に向けた HCD」

開催日時:2011 年 6 月 11 日(土)13:00～20:00

開催場所:東海大学 高輪校舎

参加人数:71 名

【講演】

- ・「強い HCD を目指して～世界の中の HCD、日本から世界に向けた HCD 」
黒須 正明氏(放送大学)

【パラレルセッション】

セッション A:HCD-Net 認定 HCD 専門家の集い ～強い HCD 専門家を目指して～

セッション B:初心者のための HCD 入門～HCD の広範な社会的基盤を確立するための HCD 学習機会～

- ・「人間中心設計の考え方 」 郷 健太郎氏(山梨大学)
- ・「新入社員のためのユーザビリティ評価:入門編 」 伊藤 泰久氏(U'eyes Design)

セッション C: 想定外の事象に HCD ノウハウはどのように役立つのか？

～危機的状況に際して HCD の立場から備えるための実践例～

- ・「東日本大震災に係わる「想定外」「想定外と言えない」様々な課題点 」

鱗原 晴彦氏(U'eyes Design)

- ・「機能安全の取組み紹介 」 川原 卓也氏(ガイア・システム・ソリューション)
- ・「HCD と機能安全 」 辛島 光彦氏(東海大学)

セッション D:アジア・世界に向けた HCD 活動の現状報告～アジア・世界の HCD をリードするための日本の実行プラン～

北村 喜文也氏(東北大学・電気通信研究所)

小坂 典子氏(クロスフロンティア)

■World Usability Day 2011 Japan

開催日時:2011 年 12 月 9 日(金)18:30～21:00

開催場所:金沢工業大学 虎ノ門キャンパス

参加人数:30 名

【講演者】

- ・「フューチャーセンター:ソーシャルチェンジのための創発場」 野村 恭彦氏
- ・「機械と手の間で」 アズビー・ブラウン氏 (金沢工業大学)
- ・「サステイナブルな HCD のあり方」 黒須 正明氏 (放送大学)

以上



【開発事業部】

■感性 SIG

感性 SIGUX と特に関係が深いと考えられる感性の問題について、HCD の立場からさまざまな取組を行っている SIG です。現在は、決められたテーマについてフォトエッセイを持ち寄り、議論をするという形で活動を行っています。

・第 4 回感性 SIG ミーティング

開催日時: 2011 年 9 月 30 日 (金) 18:00-20:00

開催場所: ソニー

参加人数: 10 名

テーマ: 「満足感について」

・第 5 回感性 SIG ミーティング

開催日時: 2012 年 2 月 15 日 (水) 19:00-21:30

開催場所: ソニー

参加人数: 8 名

テーマ: 「ほっとする時」

■SF 映画 SIG

SF 映画 SIG は、SF 映画を素材として活用し、そこに描かれた未来のインタフェースや UX を通じて人間と人工物の関係を研究し、未来のための人間中心設計のあり方を考える SIG です。特徴的なシーンを抽出し、インタフェースや UX の要素を議論するという形で活動している。

・第 1 回 SF 映画 SIG ミーティング

開催日時: 2011 年 11 月 1 日 (火) 18:00~20:00

開催場所: MRI 永田町オフィス

参加人数: 14 名

テーマ: 映画「マイノリティーリポート」の特徴シーンを抽出・討議。

・第 2 回 SF 映画 SIG ミーティング

開催日時: 1 月 13 日 (金) 18:30~20:30

開催場所: MRI 永田町オフィス

参加人数: 10 名

テーマ: 映画「マイノリティーリポート」特徴シーンを基にインタフェースや UX の要素を議論。

・第 3 回 SF 映画 SIG ミーティング

開催日時: 3 月 23 日 (金) 18:30~20:30

開催場所: MRI 永田町オフィス

参加人数: 10 名

テーマ: 映画「マイノリティーリポート」特徴シーンを基にインタフェースや UX の要素を議論。

以上